

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化予定箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道21号 <small>しんおおたばしかくふく</small> 新太田橋拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県可児市今渡 至：岐阜県美濃加茂市御門町	延長	1.0 km		
<b>事業概要</b> 一般国道21号は、岐阜県瑞浪市から滋賀県坂田郡米原町に至る延長約110kmの主要幹線道路で美濃加茂市、岐阜市、大垣市等の主要都市を結ぶ重要な路線である。 新太田橋拡幅は、木曾川を渡り岐阜県可児市と岐阜県美濃加茂市を連絡する2車線の橋梁を4車線に拡幅する事業である。					
<b>事業の目的、必要性</b> 新太田橋は、国道21号、国道41号、国道248号の主要国道が集中する交通の要所であり、可児市と美濃加茂市の中心市街地が隣接し拡大する市街地が一体化することから、交通集中による慢性的な渋滞を発生している。このため、新太田橋4車線化による交通容量の拡大を早急に図り、交通渋滞の緩和、安全性を確保し、地域の一体的な発展に資する。					
全体事業費	48億円		計画交通量	29,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C	3.5	総費用	47億円 （事業費：42億円 維持管理費：5億円）	総便益 166億円 （走行時間短縮便益：168億円 走行費用減少便益：-1億円 交通事故減少便益：-1億円）
			基準年	平成15年	
<b>事業の効果等</b> ・河川による一体的発展阻害地区の解消（木曾川で隔てられる岐阜県可児市、美濃加茂市の一体的発展） ・三次医療施設へのアクセス向上（厚生連中濃病院へのアクセス向上が見込まれる） ・緊急輸送道路ネットワークの確保（新太田橋は第1次緊急輸送道路となっている） ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上（可児市、美濃加茂市へのアクセス向上が見込まれる） 他 16項目に該当（定量的評価項目を含む）					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 平成13、14年に美濃加茂市より岐阜国道事務所長、中部地方整備局長、国土交通大臣に4車線化の要望が行われている。					
<b>事業概要図</b>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。